

木から生まれたお酒

森のビール



森を考える木材屋が作った
木を楽しむクラフトビールです。



なぜ木材屋がビール？

人の手が加わり持続可能な環境となった森林を「里山」と呼び、この里山は豊かな生態系を育み人間の生活に恩恵を与えてくれます。ですが林業の衰退によってこの里山が失われ悪影響が出ています。このプロジェクトでは、川中の責務として林業と消費者を繋ぐパイプ役となり、里山を守ることを第一に考えています。そこで、私たちに身近な商品を作って、木材の価値を届けようと考えました。

どんなビール？

石川県「能登ヒバ」、富山県「ひみ里山杉」、福井県「越前マツ」の3樹種を活用したビールです。バーレイワインという種類でアルコール度数が高いフルボディのクラフトビールです。麦芽風味が強く感じられ、モルト由来の甘みを楽しむことができます。数年間熟成して楽しむこともできます。

水口木材

福井県福井市で製材・市売りなどの流通を行っています。真心・感動・志のある木材屋を目指し、木の内装にこだわったコワーキングスペースなども運営しています。

フルタニランバー

石川県金沢市で国内外の木材製品の流通販売をしています。木の価値を届けるをコンセプトに新しい木材活用を目指した事業を展開しています。

岸田木材

富山県氷見市で製材を主業にしながら、富山氷見の森と人との共存の形を模索し、ひみ里山杉を利用した商品の開発にも力を注いでいます。

まつのわ (越前マツ)



福井県の県木。松は常緑の木で「不老長寿」や「永遠」とも言われ古くから人々に慣れ親しまれてきました。岩や砂地でもたくましく育つ強靭さや質実剛健さ、また素朴な美しさや控えめな清楚さ印象を重ね、滑らかで落ち着いた味わいとなっています。

ひばのわ (能登ヒバ)



石川県の県木。能登半島で多く造林されています。独自成分であるヒノキチオールを含み、耐久性が高く水湿にも耐えるので住宅の土台や水廻りに用いられることが多い樹種です。独特な芳香も味の特徴で石川の「雅」な雰囲気を演出しています。

すぎのわ (ひみ里山杉)



富山県のひみ里山杉は、強靭さと柔軟性を併せ持ち虫害に強く、電柱材や物流、漁業を支える造船用材として重宝されています。杉は全国的にも造林面積が最も多い樹種であることからシンプル且つスッキリと仕上げました。

森のビール 商品情報

原材料：麦芽（ドイツ製造）、ホップ、各樹種 A B V：9%

販売：フルタニランバー株式会社 製造：オリエンタルブルーイング株式会社

本品に関するお問い合わせ先

フルタニランバー株式会社 〒920-0211 石川県金沢市湊 1-86 TEL：076-238-5633
E-mail：web@furu-tani.co.jp website：http://www.furu-tani.co.jp/

株式会社岸田 〒935-0051 富山県氷見市十二町万尾前 247-1 TEL：0766-91-0093
E-mail：info@kishidamokuzai.co.jp website：https://kishidamokuzai.co.jp

水口木材株式会社 〒910-0855 福井県福井市西方 2 丁目 11-8 TEL：0776-27-1150
E-mail：info@mizuguchi-wood.co.jp website：https://mizuguchi-wood.co.jp